


# 一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成28年11月16日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第4号	質問議員	6番	石田照子	
件名	住民サービスは町民ファーストで				
要 旨					
<p>急激な人口減少に危機を感じています。町でも子育て支援の充実を図るなど、対策を講じるも現実には回復に向けた兆しは見えきません。</p> <p>10月、県外視察で福井県永平寺町に行ってきました。一般会計に占める町税の割合が21%に対し、地方交付税が40%と、当町の3.6倍の多額の地方交付税で財政を賄っており、やはり人口減少に悩む町でした。子育て世代に移住していただくとうと当町以上に手厚い子育て支援や公共交通網を敷いていますが、人口増にはまだつながっていないとのことでした。また、町民に直接関係する問題は、町民アンケートでニーズを把握し、町政運営に生かしていました。人口増には直結しなくても、ニーズにぴったりあった町の運営は、住みやすい町となり、結果住んでみたい町になることと思います。</p> <p>そこで、町民ファーストの考え方で、住みやすい町づくり、使いやすい公共施設を提案し、質問します。</p>					
1、ニーズの把握は、アンケートで					
・ 防災無線時報メロディー					
・ 遊びたい公園					
・ 学童保育で行ってほしい事					
・ 幼稚園・保育園に望むこと					
・ 行ってほしい講座・教室・講演					
・ あると嬉しい子育て支援					
・ あると嬉しい高齢者支援					
・ 循環バスで止まって(行って)欲しい場所					
・ 特産品の開発					

・町の魅力、観光資源など

小中学生や、対象年代の方々に意見を聴いてみることも、意外な発見があり、面白いアイデアが集まるかもしれません。また、ニーズに合った町づくりは、町民に優しい、親切的な町として、住みたい町につながるのではないのでしょうか。

2、公共施設使用申請を簡素化し、利用者の利便性向上と学校の安全確保を

現在、学校等の町有施設を定期的には、年一回団体登録をし、更に毎月許可証を使用施設へ提出しています。

特に、休み時間帯での学校への進入は、危険を伴います。そこで、ファックスやネット等、申請手段を増やすなどの利用者の負担軽減を図ると共に、学校への訪問者を減らし安全性を高めるべきではないのでしょうか。